

金山町 議会だより

第225号

令和6年5月9日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341

〔3月定例会 会期3月8日～14日〕

- ・令和6年度当初予算・議案審議等…2～7
- ・議案等審議結果一覧・お知らせ……………8
- ・一般質問 7人が登壇……………9～15



JR只見線が並走しています

今年3月開通 国道252号水沼工区

(中川～水沼間2,310m)

(事業期間:平成26年～令和6年)

広域的物流・救急医療や観光など地域振興が図られる
災害に強い道路が完成しました

(令和6年4月2日撮影)

前年比1億3,124万円(3.7%減)

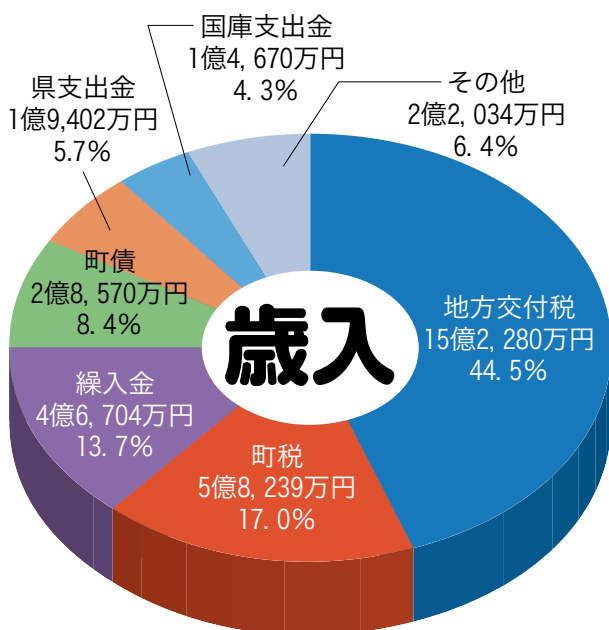
99万円を可決

3月 定例会



「起立多数」で可決した令和6年度一般会計予算

3月定例会は、3月8日から14日にかけて開催され、令和6年度当初予算、令和5年度補正予算、条例の改正など16議案と議員提出議案6件が提案され原案の通り可決されました。
一般質問は7人の議員により2日間にわたり行われました。

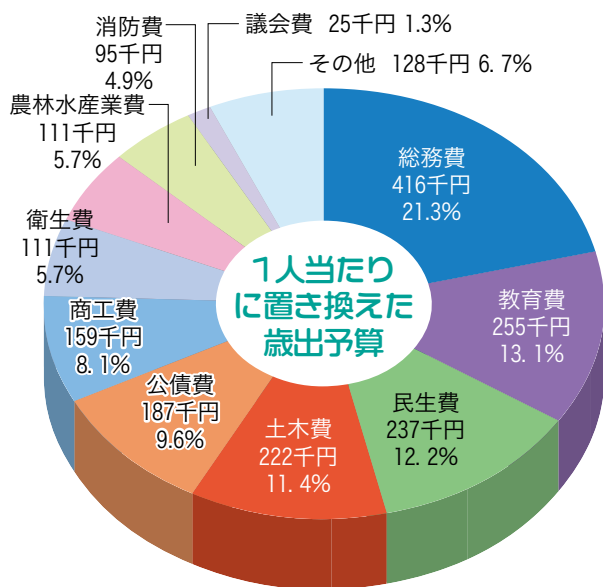


**固定資産税微減
地方交付税微増
基金取り崩し大幅増**

一般会計の概要
令和6年度一般会計予算は34億1,899万円で、前年度と比較して1億3,124万円(3.7%減)となりました。
また、特別会計予算は15億576万円(前年度比3.9%増)となり、総予算額は前年度並みの49億2,475万円となっています。

前年度と比べ、町税は全体で5億8,239万円(2.8%減)町民税の個人所得割や固定資産税の大規模償却資産の減少によるものです。
普通地方交付税は、国の資料等参考を用いて前年度比1.3%増の15億2,280万円を見込みました。
町債(町の借金は、投資的事業等分として2億8,570万円(32.3%減)、財源補てん的な基金の取崩しは4億6,704万円(19.5%増)を計上しました。

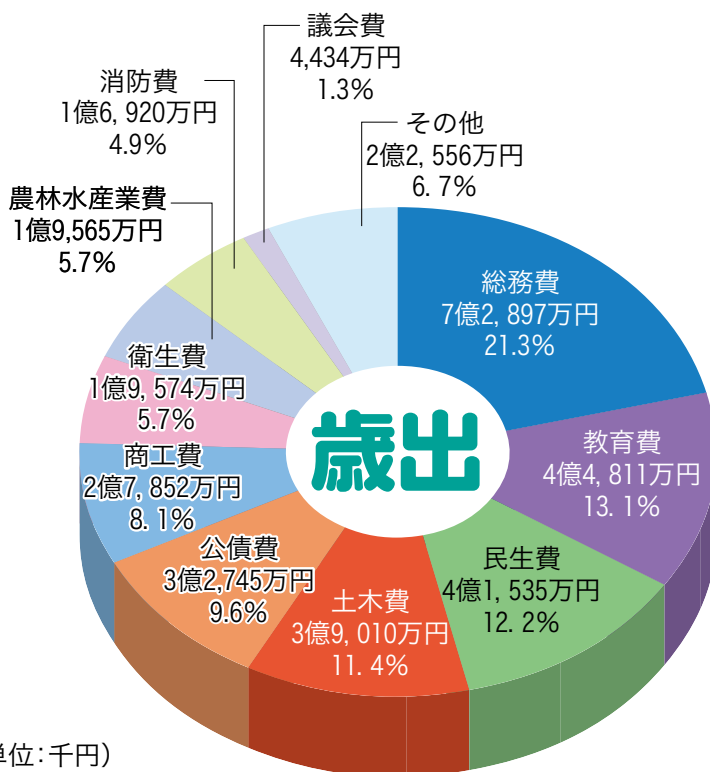
町民1人当たり 1,946千円の予算 (一般会計)



1人当たり
に置き換えた
歳出予算

令和6年4月1日現在
(外国人含む)1,757人

令和6年度一般会計 34億1,8



歳出

主要ソフト事業 (次ページ主な事業掲載)

(単位:千円)

事業名	事業費
乗合タクシー運行事業	38,169
高齢者交通安全対策事業(免許証返納)	600
集会所エアコン設置補助事業	3,000
敬老事業	4,327
緊急通報システム事業	2,495
中山間地域等直接支払事業	10,999
多面的機能支払事業	6,939



金山町公式キャラクター
「かぼまる」

令和6年度特別会計予算(当初)

(単位:万円)

特別会計名	令和6年度当初予算	前年度比増減額
国民健康保険事業(医療費等)	2億8,783万円	826
国民健康保険施設(診療所運営)	1億7,539万円	△129
介護保険	6億205万円	1,371
後期高齢者医療	5,352万円	323

令和6年度公営企業会計予算(当初)

(単位:万円)

簡易水道事業	2億3,038万円	1,003
下水道事業	1億5,533万円	2,071
(田沢地区農業集落排水事業)	3下水道事業を1会計にしました	
(町内:合併処理浄化槽)		
(川口地区公共下水道事業)		

財源補てん的な基金の残額

- ※令和5年度末(当初予算作成時見込み)
- ① 財政調整基金 11億5,725万円
 - ② 公共施設整備基金 6億7,925万円

令和6年度予算町長の提案理由

第五次総合計画に基づき、令和6年度当初予算案を策定したところであり、5つの基本目標に沿って主要な施策等について申し上げます。

①「地域力を活かした仕事づくり」では、農業については担い手確保が一番の課題であり、農業を担う者育成支援事業を立ち上げます。町内のかすみ草栽培農家への支援を継続して参ります。町民の生活支援と消費の拡大、町内経済活性化のため、妖精の里商品券25%プレミアム付で発行いたします。

②「穏やかでいきいきとした暮らしづくり」では高齢者の除排雪支援の充実、人間ドック事業、各種健診事業、高齢者居宅生活支援事業、難聴者補聴器購入支援事業等により健康長寿のまちづくりに取り組みます。子育て支援として乳幼児紙おむつ等支援を継続して参ります。

③「自然と共生し郷土を愛するひとづくり」では、令和7年4月の小学校統合に向け準備を進めます。地域一体型ふるさと教育事業についても継続して参ります。自然教育村会館活用・活性化事業については効果的な活用・運営の在り方を住民の皆様と一緒に検討していく予定です。

④「安心・安全・快適なまちづくり」では、町内のWi-Fi環境を整備し、情報伝達手段の多種多様化と情報の共有、通信環境の改善による生活利便性の向上を目指します。町道整備等も進めて参ります。

⑤「参画と共同で共につくるまちづくり」では、集落維持、高齢者の猛暑対策のため、各地区集会所を対象にエアコン設置に対する補助を行います。



町長提案理由の説明
(手前:押部町長 左奥:五ノ井議長)

「自然の恵みと笑顔あふれる かねやま」を目指して ～思いやり 支えあいのまち～

主 な 事 業

(単位：千円)

【産業振興と雇用拡大プロジェクト】

○新規就農者育成総合対策事業	1,548
○農業機械購入補助事業	9,873
○水産資源安定供給事業【新規】	1,200
○おもてなし事業【新規】	6,000
○特定地域づくり事業協同組合支援事業	19,000
○地域おこし協力隊事業	31,820
○農業を担う者育成支援事業	300

【みんなで子育て応援プロジェクト】

○妊婦・乳幼児健診事業	1,255
○不妊治療支援事業	800
○乳幼児おむつ等給付事業	865
○保育料・給食費無料化事業	6,093
○若桐寮運営事業	65,879
○教育家庭支援事業 (給食、入学、修学旅行、教材)	5,991

【移住・定住・交流プロジェクト】

○ふるさと情報発信事業	7,989
○移住支援センター事業	2,808
○定住支援事業	3,260
○空家・住宅対策事業	15,930
○川口高校地域みらい留学事業	29,873
○若者移住応援事業	1,450

【健康づくりと支えあいプロジェクト】

○住民健診事業	7,791
○人間ドック事業	1,562
○予防接種事業(乳幼児、子ども、高齢者)	8,060
○高齢者等除雪対策事業	6,225
○排除雪施設設備整備事業	3,000
○小型除雪機補助事業	7,500

金山町台湾プロモーション事業台湾訪問議員派遣報告

総務文教常任委員長 加藤夕子



【日程】

2月22日 台湾へ移動

2月23日 新北市金山区視察

(金山区→人口約22,000人。台湾島の北端に位置し浜辺の美しい景観でも有名。清時代から続く金包里街の古い町並みなど文化面での魅力も兼ね備えている。)
金山区役所にて金山区長をはじめ、各里長、温泉組合長、職員等総勢20名超の歓迎を受け、相互交流を図った。(写真①)

その後区内の街並み(金包老街とも呼ばれる)と、「金山温泉」、オートキャンプ場を視察した。
温泉については、源泉が4か所(海底温泉、炭酸泉、硫黄泉、鉄泉)もあり、5か所の無料公衆浴場がある等説明を受けた。

金山区を出発し、町長はじめ議長、観光物産協会はライオントラベルへ表敬訪問を行った。
その他は、台北MRT松山駅にて展示される星賢孝氏写真展を視察見学した。(写真②)

2月24日

台北市 真善美劇院にてあいせき列車只見線2の試写会上映、および霧幻鉄道の上映を行った。それぞれほぼ満員とあり、只見線ひいては金山町への興味関心の高さがうかがえた。(写真③)

2月25日

台北MRTの案内により、同社が運営する「猫空ロープウェイ」の視察を行った。その後台北MRT本社へ移動し、相互協力に関する意見交換および、観光旅行事業協力覚書を締結した。(写真④)
台北ランタンフェスティバルへ移動し、福島県ブースにてパンフレットの配布等を行った。

2月26日 日本へ帰国(19時頃金山着)

【総括】

新型コロナウイルス感染症の5類移行と入国制限緩和は、まさに海外観光客誘致の絶好の機会です。特に台湾からの観光客は、金山町の観光客数において大きな割合を占めており、今回の台湾プロモーション事業は、まさに官民一体となって台湾からの観光客を呼び込む第一歩となるでしょう。民間組織による只見線のショートムービー制作など、これまで行われてきた台湾との交流の基盤を活かし、町として予算を確保した本格的なプロモーション事業を実施することは非常に重要です。台北MRTとの観光旅行事業協力覚書締結は、今後台湾における日本人向けツアー開発にも期待が高まります。台湾から金山町へ、金山町から台湾へ、相互の交流が活性化し、真の交流事業となることを期待しています。

具体的な期待

- ・台湾からの観光客数の増加
- ・金山町の知名度向上
- ・地域経済の活性化
- ・台湾との文化交流の促進
- ・相互理解の深化

今後の取り組み

・プロモーション事業の積極的な推進・効果測定の実施・改善点の洗い出し・次なる展開の検討
議会としても、町と協力しながら、金山町が台湾からの観光客に「訪れてみたい」「また来たい」と思える魅力的な町となるよう、全力で取り組んで参ります。



●当初予算（議案審議）

一般会計・歳入

基金収入確保の取り組みについて

問 基金利子収入12万7千円。積極的な歳入確保の取り組みとして、預金以外での運用を検討しての予算計上か。

答 出納室長 資金運用の安全性を考慮し主に、定期預金、国債購入での運用です。

問 例えば債権、株式など預金以外での運用を検討する考えは。

答 出納室長 情報収集し安全安定的に運用できる商品がありましたら、考えて行きます。

滞納繰越分収納対策について

問 収納対策にSMSの利用は。

答 住民課長 課内検討し、滞納者の方自体にメデイアを持っていないケ

き替えに對し計上されていたが、今回ありません。経過は。

答 教育次長 令和6年度については優先順位が低いと補助金がつかないという説明を県文化財課から受けています。

マイナンバーカード交付率と地方交付税について

問 マイナンバーカード交付取得割合で普通地方交付税が増額する影響はあるのか。

答 総務課長 令和5年度からある程度金額が上乘せられています。約200万円程度です。

答 住民課長 2月29日現在の人口1,771人で申請件数1,510件です。実質交付率は85・3%です。

旧五十島家住宅改修工事県補助金について

問 令和5年度には指定文化財保存活用事業県補助金445万円が屋根葺

一般会計・歳出

障がい者雇用について

問 令和6年度の障がい者雇用については。

答 総務課長 役場で雇用するため、ハローワーク等に相談していますがなかなか雇用に至りません。雇用形態を考慮しながら実施したい考えです。

乗合タクシー運行について

問 委託料3,645万円。運行体制と内訳は。

答 総務課長 予約窓口296万円。タクシー会社2社2,161万円、他の事業者1,188万円となります。

問 令和6年度の運行内容。総務課長 横田地区線、玉梨地区線、山入地区線、沼沢地区線の4路線で変更ありません。変更点は、横田地区線について曜日によつて滝沢発、山入発でしたが予約した場所から出発となりました。



使い勝手の良い乗合タクシー

地域おこし協力隊インターンについて

問 委託料312万円。インターン研修生の業務、目的、人数、年齢層は。

答 企画課長 将来の地方移住に関心のある方に2週間程度農業や観光部門を体験して頂く。学生を含む若い人をターゲットとしています。

地域おこし協力隊について

問 関連経費3,182万円。5人分計上。募集先は。

答 企画課長 産業観光分野の研修先として企業組合おこ愛ズ、町観光物産協会、農林水産分野では特産品の生産やカスミソウ栽培、林業振興、教育文化関係は教育委員会、民具工芸等の研究保存などの分野での募集です。

問 町への定住率は非常に高いと思うが、受け入れ団体への定住率は低いと思う。3年後の任期満了後についての考え方は。

答 企画課長 退任後の隊員の道筋をつけられるよう受入れ団体、企画課、隊員の連携を密にして取り組んで参ります。



田村淳隊員(右)、大竹恵子隊員(左)

定住促進事業費について

問 事業費2,672万円。意見の聴取、効果の検証等の若者定住懇談会の開催について。

答 企画課長 令和元年度に3回開催しその後の開催はありません。事業の効果検証のため、必要な時期に適切に開催したい。

ふるさと納税返礼品について

問 ふるさと納税謝礼420万円。財源が減る中で、ふるさと納税を増やすことが必要。返礼品、ヒット商品、新商品を町主導で開拓を。

答 企画課長 返礼品が魅力となっており。一番は炭酸水です。それに続く商品を開拓して行きたいと考えています。

エゴマ普及促進について

問 報償費115万円。令和5年度は65歳から75

歳に、令和6年度は40歳から65歳にエゴマ油を2本ずつ配布する。年齢層を変更する狙いは。

答 農林課長 令和4年度は75歳以上の方々に2本ずつ配布しました。地産地消が目的で、これをきっかけに自ら購入していただく。年度ごとに対象年齢を下げて配布しています。



地産地消で健康増進を

大塩炭酸泉源泉調査について

問 委託料82万5千円。只見川の川底近くの源泉の炭酸濃度の調査になるが東北電力との協議の進捗状況は。

答 副町長 6月12日から数カ月間水位を下げてもらうよう調整済です。

問 調査内容は。
答 副町長 川底から湧

出している炭酸含有量を含む温泉の成分調査、湧出量、自噴の有無、全国でも貴重な温泉なのかの確認等になります。

おもてなし事業補助金について

問 補助金600万円。

新規事業。補助対象経費、補助率。補助額上限、加算金の要件について。

答 商工観光課長 宿泊施設の新築、増改築、駐車場整備、備品購入等が対象で1/2以内で交付になります。上限は300万円です。加算要件は新たに2部屋以上、部屋数を増す場合を検討しています。

問 事業の対象は。

答 商工観光課長 これまで課題の宿泊施設、滞在時間を長くするための飲食店。お土産屋を増やすための事業です。

旧五十島家住宅改修工事について

問 工事請負費4,000万円。非常に高額で、町単独事業。算定根拠、新年度実施の理由は。



県重要文化財(建造物)旧五十島家住宅

答 教育次長 見積は2業者から徴収。茅葺き屋根葺き替えが主で面積291㎡、仮設、棟工事20㎡となります。大雨の際一部雨漏りがするような状態で相当傷んでおり工事をを行うものです。

問 以前の改修計画は。
答 教育次長 令和5年度県補助金を入れ工事を計画しましたが、入札が不調で未実施でした。

問 雨漏り箇所の差し替えをまず行い、県の予算がついた時、全面を行う考えはないか。
答 教育次長 全面を一括やりたい考えです。

問 これは10年後とかに数千万円かけてまたやる

んですか。茅葺き屋根葺き替えは金山町だけの問題ではないと思う。只見町の叶津番所、五十嵐家、旧館岩村の前沢集落など

賛成討論

「令和6年度金山町一般会計予算」の採決に関する討論

横田正敏議員

議案第3号令和6年度金山町一般会計予算案に賛成の立場で討論いたします。

歳入は、町民税や固定資産税といった自主財源が減少し、地方交付税や財政調整基金、公共施設整備基金といった基金からの繰り入れ頼りの歳入であります。

歳出は人件費や物件費が大きく増加となり厳しい財政状況でございます。内訳を見ますと第五次総合計画に基づき、集会所エアコン設置事業、空き家活用補助事業、只見線



茅葺き替えについて悩んでいると思います。技術者の継承を考える必要があると思いますが。

答 教育長 この問題を

最後にありますが、質疑の中で多くの議員から指摘された会津川口駅窓口業務事業、そして旧五十島家住宅改修事業について、改善に向けた不断の努力を求めまして賛成いたします。

選挙

選挙管理委員

菅家 哲夫 (本名)

栗城 英雄 (山入)

角田 二郎 (玉梨)

若林 八重子 (川口)

任期は4月11日から4年間です。

選挙管理委員補充員

眞鍋 一郎 (横田)

星 正則 (大塩)

中丸 恵美子 (大志)

八須 友磨 (太郎布)

抱えている市町村と連絡を取り合い、良い方法はないか考えて行きたいと思っています。

■議案等審議結果一覧（一部を掲載しました。）

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）

※賛成「○」 反対「×」

件名	議決結果	大竹一樹	加藤賢享	安藤雅朗	加藤夕子	坂内譲	栗城康太郎	横田正敏	五ノ井義一	
■第2回定例会（3月定例会） 令和6年3月8日～14日開催										
令和6年度金山町一般会計予算	可決	○	×	○	○	○	×	○	議長は採決には加わりません	
令和6年度金山町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○		
令和6年度金山町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○		
令和6年度金山町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○		
令和6年度金山町簡易水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○		
令和6年度金山町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○		
辺地総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○		
■陳情										
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出を求める陳情	可決	○	○	○	○	○	○	○		
■議員提出議案										
「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書」の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○		
金山町議会基本条例の制定について（目的：議会の活性化を図り、町政の進展と町民福祉の向上に寄与するため）	可決	○	○	○	○	○	○	○		
金山町議会議員政治倫理条例の制定について（目的：議員と町民との信頼関係を築く基盤とし、町民に対する説明責任を明確にするため）	可決	○	○	○	○	○	○	○		
金山町議会ハラスメント防止条例の制定について（目的：議員によるハラスメントの根絶と未然防止、町民から信頼される議会の実現に資するため）	可決	○	○	○	○	○	○	○		
議会基本条例等検討特別委員会の設置について（目的：議会基本条例等の検証・調査並びに研究を継続的に行うため）	可決	○	○	○	○	○	○	○		
委員長：栗城康太郎 副委員長：安藤雅朗 委員：加藤夕子 坂内 譲 大竹一樹										

議会会議録・一般質問動画(録画) 町公式ホームページ掲載のお知らせ



↑会議録は
こちらから



↑動画配信は
こちらから

議会会議録 について

議会だよりでは一般質問について紙面の都合によりすべてを掲載できません。
ホームページには全文記載されていますので是非、ご覧ください。

（金山町ホームページ画面）

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会会議録](#)

[令和6年議会会議録](#)

一般質問の動 画配信(録画) について

各議員（質問者）ごとに動画を見ることができます。一般質問の時間は50分です。本会議
での質問、答弁をそのまま配信しています。是非、ご覧ください。

（金山町ホームページ画面）

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会動画配信](#)

[令和6年一般質問](#)



利用の少ない町の施設
農業実習館(太郎布地内)



安藤雅朗議員の 一般質問

持続可能な行政経営について

若年層の移住定住に重点を置きたい――町長

人口減少問題は日本全体の課題であり適切に対応していく必要があるが、同時に人口減少に合わせた町の在り方も変える必要があると考える。

問 今後の公共施設の在り方について

問① 令和6年3月1日時点で金山町が保有する公共施設(建築物)の延床面積は。

答 町長 町では、毎年度決算時において公有財

産に係る建物の延べ床面積を集計しております。直近となる令和4年度決算において、金山町が保有する公共施設の延べ床面積については、4万8,685㎡となっております。

問② 人口規模に応じた施設にしていくなぎと考えるが町の所見は。

答 町長 私も同様の考えであり、全体的には各種ある公共施設を長期的視点に立ち、更新・統廃合・長寿命化などにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設の最適な配置を実現する必要がありますが、具体的な実施の際には、様々な課題への対応が必要になってまいりますので、住民の意向や議員各位の意見をお伺いしながら進める必要があるものと考えております。

問 補助金の在り方について。

問① 金山町において団体運営費の補助として補助金を交付している団体の数と総額は。

答 町長 団体は5団体であり、総額は、令和6年度当初予算計上額において46,451千円となっております。

問② 補助金支出に関する統一的なガイドラインはあるのか。

答 町長 町補助金等の交付等に関する規則、要綱及び町財務規則に基づき執行しており、統一的な「交付基準」や「見直し基準」などを定めたガイドラインは設けておりません。

問 人材の活用について

問① 役場職員の職員満足度や幸福度の重要性をどのように考えている

か。

答 町長 満足度は、「働きやすさ」と考えており、職員の給与や労働時間はもちろんですが、仕事内容や福利厚生、休暇制度等によって職員の満足度は変化するものと思っています。幸福度は、「働きがい」と考えており、業務において、達成感や成長を実感できたか、働きが評価されたか等、職員自身の考え方によって、幸福度は変化するものと思っています。

問② 意欲と能力のある職員が正當に評価されているか。

答 町長 毎年度、業績評価と能力評価による人

事評価を実施しており、適正に評価されていると認識しております。

問③ 2023年4月より定年延長制度が施行されたが、町としてどういった活躍を期待するのか。

答 町長 今年度から令和12年度にかけて段階的に職員の定年年齢が引上げられます。定年延長によって61歳以降も勤務して頂くことになりまので、これまで培った知識、技術、経験を活かして業務に従事して頂くとともに、他の職員へ指導や助言を行ってもらうことで、行政運営において必要な知識、技術、経験が、次世代に受け継がれていくことを期待しております。



空き家古民家を大規模改修し宿泊施設へ(玉梨地内)

大竹一樹議員の 一般質問



宿泊施設不足の解消に向けて

ハードルは大変高いー町長

「霧幻峡の渡し」、只見線を軸としたプロモーション活動などにより、町内では繁忙期に宿泊施設が不足するという状況が続いています。解決策として来年度予算に起業促進のため新規に「おもてなし事業」を追加することや、15〜20人が宿泊できる施設を2つ程度増やすことを目標に掲げています。

等の新規支援による効果をどのように展望しているのか。

町長 当町へ来町される旅行者が増加傾向にあるにも関わらず、相対的に宿泊施設が不足していることを認識しており、事業の効果は、単に宿泊施設を増やすということだけでなく、金山町全体での観光客の受け入れ体制を強化することによ

り、観光客の滞在時間を拡大し、観光振興により経済効果を高めることにあります。町内の事業者の力を借りることで、町全体の受入れ体制の向上、魅力アップを図り、現状課題となっている団体旅行者を受け入れる体制の整備を図りたいと考えております。

また、今回の補助事業は、宿泊施設だけでなく、飲食業やお土産物屋なども対象となります。町全体のおもてなし体制の整備を図ることが、観光客へのサービスの向上につながり、宿泊者の増など経済効果を高めることに結びつくものと思っています。

町長 大変ハードルが高いものと考えており、関係団体、実際に宿泊業を行っている方、これから始めたい方などと協議しながら進めてまいります。

また、この事業の期間は3年とし、推移を見ながら継続・廃止・見直しについて考えて行きたいと思っています。

問① 「おもてなし事業」

東京大学フイールドスタディ事業を経て 提案を精査し実現していくー町長

提案を精査し実現していくー町長

本年2月5日に行われた「東京大学フイールドスタディ事業」活動報告

宿泊施設の不足と宿泊予約などにSNSの活用、

います。

会にて4人から只見線関連に対する提案がありました。これを踏まえ伺います。

駅や駅前のリノベーション、只見線の案内強化などの提案がありました。

問② 今後このような事業を継続して実施する考えはあるか。

町長 町の課題に対して幅広い分野から意見が聞けること、交流人口の拡大も期待できると、学生などとの交流を通じて職員の資質向上が

問① 本事業をどう政策に反映していくか。

町長 活動報告では、2次交通整備の必要性、

町長 町長 大変ハードルが高いものと考えており、関係団体、実際に宿泊業を行っている方、これから始めたい方などと協議しながら進めてまいります。

また、この事業の期間は3年とし、推移を見ながら継続・廃止・見直しについて考えて行きたいと思っています。

町長 活動報告では、2次交通整備の必要性、

町長 町長 大変ハードルが高いものと考えており、関係団体、実際に宿泊業を行っている方、これから始めたい方などと協議しながら進めてまいります。

また、この事業の期間は3年とし、推移を見ながら継続・廃止・見直しについて考えて行きたいと思っています。

町長 町長 大変ハードルが高いものと考えており、関係団体、実際に宿泊業を行っている方、これから始めたい方などと協議しながら進めてまいります。



J R只見線会津川口駅前下町商店街
「おもてなし事業」での空き店舗の
活用が待たれます。



横田正敏議員の 一般質問

押部町長の政治姿勢について

残された任期、しっかり町民のため尽くすー町長

厚生労働省の国立人口問題研究所は2050年までの将来人口推計を発表した。当町の2050年時点の15～64歳までの生産年齢人口を2020年と比べると54%減少し、639人から294人と見込まれている。そこで伺います。

効果があがっていないように感じられる。今までの総括は。

答 町長 町総合計画では、町の最重要課題である少子高齢化、人口減少問題に対応するため、4つの重点プロジェクトを設定しています。

問① 町の総合計画では、全庁を挙げて分野横断的に取り組むことを狙い、4つの重点プロジェクトを設定されているが

1 番目は、後継者育成と特色を活かした産業づくりを目標とした「産業振興と雇用拡大プロジェクト」。

2 番目は、つながりや新しい人の流れをつくることを目標とした「移住・定住・交流プロジェクト」。

3 番目は、子育てしやすい環境づくりを目標とした「みんなで子育て応援プロジェクト」。

4 番目は、健康で安心して暮らせる環境づくりを目標とした「健康づくりと支えあいプロジェクト」。

より事業効果を高めるため、分野横断的に各種施策を連携させ、人口減少対策に取り組んでまいります。

問② 人口減少により農地の荒廃が進んでいるが、耕作放棄地や荒廃農地を増やさないようどう取り組む考えか。また、米価下落、生産資材高騰

の中、農家に対し物価高騰対策を継続して実施する必要があると考えるかどうか。

答 町長 地域の農地を維持するため、維持すべき優良な農地を見極める必要があると考えております。そのため、令和6年度中には、人・農地プランを軸とした地域計画の策定を予定しております。多様な農業を担う方々を確保しながら、農地の保全に努めてまいります。

物価高騰対策についてこれまでも国の経営所得

安定対策や町独自の対策として、地域農業の持続的な維持を図るための農業経営支援事業や地域特産農産物生産振興事業、農業経営者の安定的な農業支援を図るための農業用機械購入事業など、農業者に対して様々な支援を行っております。

農業資材の価格高騰などにより、農業経営は大変な時期を迎えていると認識しており、農業者に対する町単独補助金は、これまで同様に継続させてまいりたいと考えております。

問③ 東京大学フィロドスタディの報告の中にもあったように、川口駅前のリノベーションに取り組むことが急務であると考えるが町長の所見は。

答 町長 J R只見線を利用して会津川口駅で降車された方の困っている姿をよく見かけます。会津川口駅は、3月末で無人駅となり、駅舎は、J R東日本との協議の上で町が利用することが可能となります。この機をとらえ、駅舎だけでなく、駅前周辺を含めたりノベーションを議会と共に議論して行きたいと考えております。具体的には、駅からの2次交通対策を進めるほか、会津川口駅が町民や観光客にとって安心・安全・快適な場所として活用できるよう、J R東日本と駅舎の利活用などについて協議を進めてまいります。

また、駅を中心とした駅周辺の整備・活用についても、おもてなし事業の周知を図り、補助事業の活用を希望する事業者等を募るほか、商工会・観光物産協会等関係団体と一体となつて取り組んでいきたいと思ひます。



日本で数少ない「妖精美術館」(沼沢地内)
世界中の妖精が集まっています。

加藤賢享議員の 一般質問



町づくりについて

町づくりの方向性は受け継がれている――町長

町づくりは、町民福祉の向上のため、長い年月をかけ継続することが原則であり、継続とは、悪いところを修正し改善し、足りないところは補いながら充実させていくことであるが、金山町の町づくりの活動の多くが継続、拡大しないまま、いつのまにか終わってしまふことが多い。継続することによって、その地域が魅力的になり、交流

人口、観光人口の増加につながるかと考え伺います。

問① 第三次振興計画(2001～2010)に

は住民が主役になり、「妖精」といえば金山町「金山町」といえば妖精とし「妖精の里金山町」を全国に発信とあるが、現在「妖精」という言葉が聞かれなくなってしまうのはなぜか。また、住民が主役と言いながら、第五次総合計画(2021～2030)には「妖精の里」「自然教育村」の事を文字さえ触れない理由、そして、説明しないまま、町づくりが行われている事をどのように考えているのか伺う。

答 町長 第五次総合計画では、「自然教育村」や「妖精の里」という言葉を使用しておりません。「自然教育村」「妖精の里」などの名称が付いた事業

は、少なくなっています。が、今でも、各集落名の看板や商品券、施設や大会の名称などに使用しております。

現行の第五次金山町総合計画では、「観光資源を活かした交流人口の拡大」や「学校教育の充実」といった項目の中で町の自然資源の活用やふるさと教育の充実などが記載されていますので、第三次振興計画で示された自然環境を活用し、活性化を図るという町づくりの方向性は、時代に合わせた変化はあっても、第五次総合計画にも受け継がれていると考えております。



妖精マーク入り「集落案内看板」

問② JR只見線が再開通し、只見線のブームが続いているが、会津川口駅は通過点となっており、「ようこそ金山」を目指す必要があると思うがどのように考えているか伺う。

答 町長 只見線は、全線再開通以降、以前にも増して多くの観光客にご利用いただいております。議員ご指摘のとおり、観光客の只見線利用については、会津若松から小出まで全区間を通して乗車する方や、一定区間のみ乗車しバスなどに乗り換える場所として会津川口駅を利用される方も多くいと認識しております。

一方で、JR只見線の撮影スポットを求めて下車される方もインバウンド(訪日外国人旅行者)を中心として大勢います。これまで町では、町内を周遊して頂くために、観光案内看板の設置や観光地

への二次交通対策としてレンタサイクル事業や観光タクシー事業を実施してきました。

駅で降りていただくためには、自然景観をはじめとする観光資源の魅力や下車駅からの移動手段、宿泊情報などをより多くの人に発信することが大事だと思います。併せて、駅の活性化はもちろん、駅周辺、町全体の活性化を図ること、交流人口の増を図ることが重要と考えております。

観光客はもとより、高齢化が進む町内の利用者が安心して駅を利用できる体制を整えつつ、町民や関係者のご意見、アイデアをいただきながら、金山町内の駅、会津川口駅が通過点ではなく目的地となるような駅の活用及びその周辺、町全体の活性化対策を進めていく必要があると考えています。

景スポットを求めて下車される方もインバウンド(訪日外国人旅行者)を中心として大勢います。これまで町では、町内を周遊して頂くために、観光案内看板の設置や観光地



土砂崩落等により通行止の県道小栗山宮下線
現地での安全な通行確保のため対策工事中
再開通予定は令和7年5月頃になります。



加藤夕子議員の 一般質問

金山町の災害対策、

対応について

関係機関と協力し対応している ― 町長

災害はいつ起こるかわからず、完全に防ぐことは難しいのが現状です。

問① 2011年の東日本大震災以降の避難訓練実施状況について。

しかし、事前にしっかりと備えることで被害を最小限に抑えることは可能です。金山町では地震だけでなく、豪雨、土砂崩れ、雪害など様々な災害が発生しており、地域における多様な災害リスクへの備えが重要となります。

答 町長 避難訓練は町の防災訓練を実施する際に、訓練項目の一つとして行っており、平成23年の東日本大震災以降は、平成24年、平成25年、平成27年、平成29年、令和元年、令和3年、令和5年に実施しております。訓練の際は、地区住民の方にも参加を頂きながら、区長等による安否確認や要援護者の避難誘導などを行ってききました。

ることになります。休日・夜間は、災害時の職員招集基準により必要人員を確保し対応に当たることになります。

問② 町外在住職員も多く、即対応は難しいのかもしれませんが、職員の動向について。

問③ 町内の県道、町道が災害の為、当分の間通行止めとなっています。災害時の迂回路が実質無くなっている現状がありますが、重要性和早期復旧について。

答 町長 平日は、災害の状況に応じて在庁職員をもって応急対応に当たります。

地震などの突然発生する災害の場合は、招集基準に基づき各職員がそれぞれ参集することになります。

台風や豪雨等による災害については、気象情報により一定程度の事前準備ができますので、あらかじめ招集職員を確認しておき、状況によって速やかに招集できるような体制を取っております。

災害時の招集については、町内町外在住の区別なく同様に取扱いしております。

問④ 内閣府では、男女共同参画の視点から防災・復興ガイドラインには、女性の参画を推進する必要があります。とあります。町女性職員の対応は。

答 町長 内閣府による「男女共同参画の視点から防災・復興ガイドライン」では、災害対応に当たっては、女性と男性のニーズの違いが配慮されるよう、様々な過程において女性の参画を推進するように記載されております。

町の女性職員数は多くありませんが、災害時における女性の視点が重要な点の対応については、可能な範囲で優先的に配置を行いながら、関係機関の女性の方の協力を得て対応してまいりたいと考えております。

加藤議員からは、この他に「只見線について」の質問がありました。



整備中のWi-Fi基地局
40基の内37基が完成しています(玉梨地内)

坂内 議員の 一般質問



町内Wi-Fi環境整備について

大幅な事業の遅延となる――町長

令和6年度から利用予定であったWi-Fi整備事業が、選定業者の都合により大幅な遅延になり、令和6年4月からの利用が難しいとの説明があったことについて伺う。

問① 今後のスケジュールや業者選定をどのように進めて行くのか。

答 町長 契約締結した請負事業者が、資金繰りの悪化により契約不履行

に陥ったため、契約を解除した次第です。そのため、大幅な事業の遅延と事業内容の変更を余儀なくされております。

問② 今後の事業スケジュールについては、まずは、町内40箇所に設置するWi-Fi基地局の整備を完了させるため、施設整備に関して新たな電気通

信事業者と契約の手続きを進めているところですが、

一方、運用に関しても、現在のところ事業者は決定しておりません。同様の事業を実施している自治体があり、情報交換を行いながら、慎重に運用事業者を選定したいと考えております。運用開始

には、相当の時間を要するものと思われ、具体的なスケジュールをお示しすることができません。

問③ 監視カメラの設置数が大幅に縮小されるようです。高齢者や子供の見守りについて、どうとらえていますか。

答 町長 国の補助金が活用できなくなり、監視カメラの設置については、事業を再構築することといたしました。監視カメラは高齢者や子供の見守りにも必要な設備と考えられますので、事業実施に要する財源も含めて再度調整を行ってまいります。

相続登記の義務化に伴い想定される問題に対する対応策は

懇切丁寧な対応を――町長

令和6年4月1日から

ていますか。

民法の改正に伴い「相続登記の申請義務化」が施行されます。金山町の中

問② 長期間放置したところによる権利関係のトラブルが増える予想されるが、町の対応は。

にも「長期間にわたって相続登記が行われていない土地」が多くあり、所有者が不明となるような土地も増え、社会問題化しているようです。

答 町長 まずは周知が必要であると考え、今年度は、固定資産税納税通知書送付時に、法務局からのお知らせ「相続登記の申請が義務化されます」を同封しました。令和6年度も、同様のお知

問① 金山町ではこの様な問題に対してどう考える

らせを同封する予定です。また、窓口においても、固定資産所有者の死亡手続きの際に、相続人に対して相続登記の義務化について案内することとします。

法改正により、今後は相談者も増加すると予想されますが、懇切丁寧な案内を心掛けていきたいと思

います。



町外の民間業者の移動販売車による食品販売
多くの方が利用しています(中川地内)



栗城康太郎議員の 一般質問

災害時の業務継続計画について

再点検は必要——町長

問① 町長は公約の第1に「安全・安心な生活環境づくり」を挙げられています。能登半島地震を教訓にして当町の地域防災計画や業務継続計画について早急に再点検すべきではないか。

答 町長 町の防災対策は、地域防災計画を始めとして、災害時受援計画、防災備蓄計画などを策定し、防災対策を進めています。大規模災害時にお

ける業務継続計画は昨年策定いたしました防災対策は、町の環境変化や基準の改正等に伴い、計画や実施内容の見直しを行う必要があります。各種災害を教訓に、再点検を行うなどして、変化に応じた対応ができるよう取り組んでいかなければならないと考えております。

問② 職員向けの訓練や研修を実施すべきと考え

答 町長 地震や豪雨災害時の招集基準の周知や招集訓練などを実施しておりますが、避難所開設訓練や防災研修なども、機会を捉えて行って参りたいと考えております。

問③ 地域の住民主体の

防災計画を積み上げて最終的に町の防災計画ができあがるというのが『町民が主人公の町政』ではないかと思いますが、やってみようという考えはあるか。

答 町長 昨年、越川と橋立地区の防災計画を作っていたとき、それにより資機材の支援等々も行っておりますので、引き

買い物弱者対策について

町外への買い物支援の考えない——町長

問 町内の高齢化率は現在6割を超え、免許返納等で食料品など日常の買い物に困難な状況に置かれている「買い物弱者」が増加しています。町で

答 町長 買物の楽しみの一つは、多くの商品を見比べながら手に取って選ぶという事だと思

問② 町長は「今よりもさらに安心して暮らしていただけるよう、現在行っている町独自の支援制度を改善しながら、安心安全なまちづくりを目指

答 町長 町外のスーパーに行って買い物をするのにバスを出すという事については、いかなものかなという立場です。で、ご理解いただきたい。

が、町民の方々から「商品が豊富なスーパーで、実際に商品を手に取って

答 町長 買物の楽しみの一つは、多くの商品を見比べながら手に取って選ぶという事だと思

問② 町長は「今よりもさらに安心して暮らしていただけるよう、現在行っている町独自の支援制度を改善しながら、安心安全なまちづくりを目指



窓 恩返しから学ぶこと

令和6年度の幕開けは、台湾東部花蓮県を中心とした大地震のニュースで始まりました。多くの犠牲者への哀悼と共に、昨年度から交流を始めた台湾の方々の安否が気になりませんでした。関係者全員の無事確認は、大きな安堵となりました。金山町からも地震発生当日中に台湾関係者へお見舞いのメールが送られたと伺い、迅速な対応に今後の台湾との関係がうまくいくであろうと確信が持てました。地震大国、島国、独特の文化という共通点を持つ台湾と日本は、互いにピンチの際には、今までも多くの義援金や支援を送り合ってきました。東日本大震災では台湾から250億円以上の義援金が寄せられ、能登半島地震でも民間だけで25億円を超える寄付がわずか2週間で集まったと報道されています。国と国との関係を越え、まるで親戚のような温かい繋がりを感じます。まさに「持ちつ持たれつ」の精神こそ小さな島国が生き残っていくための大切な方法だったのかもかもしれません。

新潟福島豪雨で大きな被害を受けた只見線も台湾の方々からの応援によって復活を遂げました。星賢孝さんは、台湾での講演で「只見線の再開通は正直諦めていた。しかし、台湾の方々写真撮影のためにたくさん観光に来てくれたおかげで、只見線は残してもらえた。それぐらい大きな力になった」と語っています。金山町も台湾と日本の関係のように「持ちつ持たれつ」の精神を大切にしていくべきだと強く感じます。自分のことだけを優先するのではなく、集落や地域のため、時には妥協して譲り合うこと。そして、お互いさまで人の幸せを自分のことのように喜べる金山町になったらいいな。そして、①交流事業の継続・拡大②情報発信の強化③経済交流の促進等これらの取り組みを通じて、金山町と台湾の友好関係をさらに深め、互いに学び合い成長していくことが出来る一年になることを期待しています。

(坂内 譲)

国道252号水沼工区完成式

3月25日、金山町町民体育館において関係者約40名出席のもと完成式が行われました。

2011年7月の新潟・福島豪雨時には、道路が冠水するなど大きな被害に見舞われました。勾配を緩やかにし、冠水した区間を約5mかさ上げし災害に強い道路が完成しました。皆さまも安全な走行をお願いいたします。



議会を代表して祝辞を述べる五ノ井義一議長

ごあんない

次回の定例会は、6月14日ごろ開会の予定です。

一般質問は6月17日ごろからとなります。

「開かれた議会」を目指しておりますので、皆様お気軽に傍聴においで下さい。

○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り
4階の議場においで下さい。

次回、金山町議会だより第226号は、8月上旬ごろ発行の予定です。	〔発行責任者〕		議長	五ノ井義一
	〔編集委員〕		委員長	横田 正敏
	副委員長		安藤 雅朗	
	委員		坂内 譲	
			大竹 一樹	